学校番号	1006

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	第一学習社「高等学校　新生物基礎」						
副教材等	第一学習社「プログレス　生物基礎」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物をマクロな視点で見る「生態系」ミクロな視点で見る「遺伝子」、そして生物の一個体の組織を見る「体内環境」を中心に学習します。教科書を参考に、各分野の内容をプリントにまとめて丁寧に解説します。理解した知識をより確実にするため、問題集を解いて理解度をチェックします。生物に対する興味・関心・態度を育むため、観察や実験も行います。生物を通して、思考力・判断力・表現力を身につけてほしいと思います。

2　学習の到達目標

生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。
生物と生物現象について主体的に学び、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 生物の特徴	1節　生物の多様性と共通性 2節　細胞とエネルギー	a:生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 b:資料や実験をもとに，生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 c: 細胞の構造や基本的な代謝の仕組みを理解しようとする	実験評価 定期考査 課題提出	発問評価 定期考査 課題提出	発問評価 授業態度
	第2章 遺伝子とその働き	1節　遺伝情報とDNA 2 節　遺伝情報とタンパク質の合成	a:ゲノム，遺伝子，染色体，DNAの関係を理解している。 b:DNA の遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる c: DNA の性質や構造を，DNA の研究史とともに理解しようとする。	実験評価 定期考査 課題提出	発問評価 定期考査 課題提出	発問評価 授業態度
2学期	第3章 ヒトのからだの調節	1節　体内環境 2節体内環境の維持のしくみ 3節　免疫	a:体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 b:体の調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 c: 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	実験評価 定期考査 課題提出	発問評価 定期考査 課題提出	発問評価 授業態度
	第4章 生物の多	1節　生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム	a:陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。	実験評価 定期考査 課題提出	発問評価 定期考査 課題提出	発問評価 授業態度

3 学 期		3 節　生態系と生物の多様性 4 節　生態系のバランスと保全	b:生態系と生物の多様性に関する観察，実験などから，生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 c:生物が多様であることを，食物網や間接効果と関連付けて説明できる。	実験評価 定期考査 課題提出	発問評価 定期考査 課題提出	発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度